



百七拾一番

郵

寫濟

文章不存其原文之甚矣  
於本解之云云

輔

外事左局

大正  
九年  
七月  
廿九日

第九号

獨乙上

去ル十七日附西本船ヲ以テ錢道生  
ノ條目ヲ以テ越落仕ル然ル者  
民ノ頒布ニ候左ニ通ル名込  
領事官(中遺)

右罰例第一條ノ前半部

批ノ者勸中酒ニ醉ニ云

者ニ右様ナル思シキ所為者

罰金或ハ暇差遣ス事ヲ以

テ得ル為メ者ト相結ル定

加ト存ル

第一條ノ後半部分ニ掲ケタル

情又為メニ乗客ノ危難ニ相成

候ナル罰例ハ最早我國

0364

百十六ヶ條ニテ極小則如此過テ有ル時二年  
ノ間入牢ニ可変且又之レカ為人命ヲ失フニ  
及ハハ一月ヨリ三年迄ノ入牢ニ可変

第六ヶ條ノ後半部分則不記録ト淫乱ノ行ノ  
後ハ之レモ我國罰例記ノオ三百五ヶ條中

オ十章ニテ罰例ヲ極小則不記録アル時ハ  
五十ダラ迄ノ罰金或ハ入牢ニ可変且我國罰  
例記オ百八十三ヶ條ニテ淫乱ニ記録アツテ

### 外務省

急状ヲ為スモノハ二年内ノ入牢ニ可変

オ七ヶ條則淺道ノ器械等ヲ破壊スル云々ノ

趣ハ之レモ我々罰例記オ三百五ヶ條ノ趣ヲ以テ

罰例ヲ極小則否ノ趣ハ淺道ノ器械等ヲ破壊

スルモノ一月ニ下ラサル入牢或ハ故ラニ破壊サセ

其車ノ危難ヲ成ス時ハ同シクオ三百十五ヶ條ノ

趣ヲ以テ十年内ノ入牢或ハ否ノ為メ人身ヲ重ク

傷ケル時ハ五ヶ年ニ下ラサル懲牢人命ヲ失フニ

及ハ八十年ニ下ラサル或ハ終身ノ懲年ニ可受  
依我國トモ至ト立相結ハ定約ノ中六ヶ條ノ  
越ハ福逸國人民罪ヲ犯ス時、我國法律ヲ  
以之ヲ罰スヘキ方之ハ例抑者支配下ノ領事  
官、前書ノ羅アル時我福逸國ノ罰例記  
照ニテ裁判スヘキ様相達置ハ左ハハ福逸國ノ  
罰例固ヨリ重キニ付我國ノ法  
律書ヲ用ルトモ日本帝國政府前書ノ罰例條

### 外務省

目ヲ布告相成ハ時ニアリシハ目的ハ急度可  
被逐ト存ハ具又去ル音ノ布告ニ書載ハ他  
罰例ノ條ハ抑者至貴政府ノ決議ノ未ル時ニ  
分金喜岡ノ替リニメキシコドルヲ以テ横濱ニテ布告  
致ハ日ヨリ三十日過キタル上其通者仍テ申ハ右  
我帝國政府決議達ニ越シ以罪為知事以  
右ニ從正報書少部ニ在ハ以上

福逸國辨理人使

三月廿三日

上野外務少輔

フホングラント

閣下

外務省

3-2275

0367

Dießes Schreiben ist einseitig bis zum  
 Eintriffen eines Gegenschreibens allerhöchster Regierung  
 dießes Schreibens zurückzuführen gegenüber mit der Überweisung  
 in Commission zu bringen, daß in allen Fällen die Gen.  
 Mexikanische Dollar gesetzlich sind und die Bestimmungen auf  
 30 Tage nach ihrer Veröffentlichung in Yokohama in Kraft treten.  
 Es sind mit der Veröffentlichung des Briefes dießes  
 Regierungsgeschäftes, wozu ich nicht verfahren, die  
 Erklärung jedoch davon in Kenntnis zu setzen.  
 Ich bitte Sie sehr Gutes zu tun, die  
 die Angelegenheiten meiner wichtigste Angelegenheiten zu  
 unterstützen.

Mr. Brand.

千八百七十三年 三月廿三日  
 自獨理使之下 至上野少輔  
 大錢道規則被差送 長手之々  
 意 申出 別紙

3-2275

0368



Kaiserlich  
Deutsche Mission  
in  
Japan.

No. 9

Yedo den 23<sup>ten</sup> März 1873

Erinnere Gedächtnis Schreiben vom 17<sup>ten</sup> d. M., mit welchem Sie  
mir die Kaufbestimmungen für Krogasen wider die Eisenbahn-Be-  
günstigungen überreichten, habe ich Sie sehr dankbar zu verstehen, und  
brauche ich nicht, Ihnen mit Bezug auf dieselben mitzuteilen, in  
wie weit ich die Eisenbahn-Bezugnahmen im gegenwärtigen  
unverzüglichen können, die betreffenden Kaufbestimmungen  
und Eisenbahn-Bezugnahmen anzuwenden.

Wird Sie in der ersten Hälfte der Bestimmungen I  
eingetragene Krogasen Eisenbahn-Bezugnahmen von dem Eisenbahn-  
Bezugnahmen unberührt, so ist meine Ansicht nach, ob die Eisenbahn-  
Bezugnahmen zu überlassen, gegen Sie mit ich in kontraktlichen Verhältnissen  
von Kaufmanns-Verträgen in Bezug auf Eisenbahn-Bezugnahmen über

Ob

Erinnere Gedächtnis  
den stellvertretenden Konsul  
der Österreichischen Anwaltschaft  
Herrn Kagenori Ueyero

Yedo.

3-2275

0370



西平素

外事

山内勝海

輔

一書局

左

本有之佛之方再復也

本月十日附貴簡以鉄道規則省

者其罰則主は正に正に正に正に

右和國民の爲施行二改標銀事

是之く正に正に正に正に正に

速に備第一番初に記載するに

之を事務の中解するに正に正に

外務省

罰一才に備金するに正に正に

官と無く正に正に正に正に正に

正に正に正に正に正に正に正に

方法正に正に正に正に正に正に

正に正に正に正に正に正に正に

正に正に正に正に正に正に正に

正に正に正に正に正に正に正に

正に正に正に正に正に正に正に

此の正に正に正に正に正に正に



乃至三十年に定めしは、借又第六條に於て  
 不行論に刑法書に於ては、我刑法律  
 第三百六十一章第十号、不行論甚し、若  
 く五十年に於ては、借金或は禁烟又回教第  
 百八十三章に於ては、海軍に於ては、衆、私守を共  
 ぶる者、二十年以内、禁烟と記載するに  
 且第七年、鉄道に於ては、禁物と記載するに  
 又刑法律、第三百五章、五章に於ては、鉄道に  
 於ては、禁物と記載するに、禁烟一月、下らざる  
 是、依て危難を生ずる時、禁烟十年  
 百又甚しき危難を起す者、禁烟五年、  
 下らざる又一人、死するの事ある時、禁烟  
 十年、下らざる或は生涯禁烟と記載するに  
 借貴我定約中、第三章、獨逸人罪状  
 犯す時、獨逸の法を以て罪を處する

外務省

記載ありし旨右に掲載の原の秋國刑  
 法に用いし杖杖鉞事録に違是其  
 尤亦國刑法を貴國の刑法に嚴罰  
 之し之を貴政府に於ては布告を以て刑  
 法に於ては妨げの心算を供本手  
 三月十三日布告中、掲載あり其地  
 罰法に於ては右規則極濠港に布告  
 其地は三月十日以前に秋政府より刑

外務省

假布令を以て之を國に非し操に我國民  
 之を極行に致す事是を尤我政府  
 之に於て極行に早急に圖下し之を以て

一千九百零三年三月二十三日

東京に於て  
 務外務省  
 プラン

之野景範圍下

白子之馬

外車左局

白子之馬

輔見

西車馬

左馬車

考法局

升十九号

鐵道犯罪例申懲役之文、貴國例法に於

て施行する事、例申懲役之文字如左

貴國人民、市中、遠く、夜中、路上、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

第一貴國人民、市中、夜中、路上、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

佛國例

勸告、申懲役又禁錮、罰金、

馬濟

寫濟

乙号

鐵道犯罪罰例中懲役之條、貴國罰  
法於此處施行然其未罰例者懲役之文  
字然論其貴國人民、西布達之改方  
而中、立之改法勸考、其右罰例中懲  
役又、禁錮之罰、有之、其、一、貴國人  
犯罪此罰、當分、之、改、法、懲、役、之、用、以、

外務省

禁錮之方、色、之、受、之、而、其、受、之、以、之、取  
文、之、罪、文、之、差、違、者、之、以、好、改、者、布、是  
之、先、日、差、違、以、通、之、以、布、令、之、以、改、法、以、取  
之、得、之、之、以、改、法、以、取、之、

明治六年四月四日 外務省輔政官

佛國公使

姓名閣下



○明治七年二月  
省第十四号布  
達ニテ改ス

第二十九号

第三百十六號

鉄道貨物運送補則并賃錢表及追加別冊  
通相定候條此旨布告候事

明治六年九月十三日 太政大臣三條實美

外務省





鐵道貨物運送補則

第一條 鐵道貨物運送ノ事

日本政府ハ左ノ表ニ載スル規則ニ隨ヒ定數ノ  
貨錢ヲ取り東京ノ新橋及横濱ノ鐵道ステーション  
ヨシノ間ニ貨物ヲ運送スルノ支度整ヘリ  
右ノ貨錢ハ更ニ便宜トスルノ議アル時ハ時々政  
府ノ改革ニ隨フヘキ事

第二條 表ニ舉ゲル貨物貨錢ノ事

貨錢表中別ニ其名ヲ舉ゲル貨物ハ百斤ニ付十  
八錢七厘五毛ノ貨錢ヲ取ルヘシ

外務省

第三條 託送貨物ノ事

託送ノ貨物ハ鐵道掛リニ渡ヌ時送ル處ノ貨物  
品名ヲ標記シシ託送ノ人一名或ハ連名又ハ其代  
人ニテ手記シタル送狀ヲ添エ可シ

第四條 品名不標記貨物ノ事

託送ノ人ニテ其品名ヲ標記セサル貨物ハ百斤  
ニ付十八錢七厘五毛ヲ取ルヘシ

第五條 奇零斤數ノ事

何程少ナキ奇零斤數モ貨車ニテ運送スルニ於  
テハ都テ百斤ノ貨錢ヲ取ヘシ

第六條 百斤以上ノ奇零<sup>オカゼ</sup>斤數ノ事  
貨車ニテ運送スル託送貨物百斤以上ノ奇零<sup>オカゼ</sup>斤數モ前第五條ノ例ニ倣ヒ都テ其奇零<sup>オカゼ</sup>ヲ百斤トシテ其賃錢ヲ取ル可シ

第七條 運送程限アル事

貨物運送ノ賃錢ハ貨物ヲ車ニ載セ「ステーション」ヨリ「ステーション」ニテ運送シテ之ヲ車ヨリ卸送ノ賃錢ニシテ貨物ヲ他所ヨリ「ステーション」ニテ運ヒ又之ヲ「ステーション」ヨリ他所ニ送ルノ賃錢ヲ籠メサルナリ

外務省

第八條 賃錢前渡ノ事

鐵道ニテ貨物運送賃錢ハ都テ其發送ノ「ステーション」エ貨物ヲ渡ス時必ス前渡ニスヘシ

第九條 請合ヲセサル事

政府ニ於テ荷物ヲ間断ナク車送スル「ステーション」又何レノ「ステーション」ニテモ荷物到着ノ時刻ヲ限ル「ステーション」請合ス

第十條 鐵道ノ請合狀ノ事

貨物ヲ渡ス節兼テ發送ノ「ステーション」ニ於テ與フル所ノ請取狀ヲ貨物請取人ニ與ヘ「ステーション」

ト引換ニ貨物ヲ受取ルヘキ事

第十一條 償還證書ノ事

鐵道ノ請取狀紛失スル時ハ政府荷渡シノ節償還證書ヲ出サシム

第十二條 貨物取扱所ノ事

貨物取扱所ハ東京ノ新橋並横濱ステーションニ於テ貨物受付ノ夕ノ毎日午前七時ヨリ午後五時マテ開ク可シ其餘ハ決シテ貨物ノ受付ヲナサス

第十三條 遺失並毀損物ノ事

外務省

何品ヲ論セス送貨ノ遺失或ハ毀損ニ付政府ニ對シテノ苦情ハ當テ送ル所ノステーションニ着後二十四時ノ間ヲ限り其貨物ヲ受取ル時ニ訴フ可シ右ノ時間ヲ過レハ訴フル之ヲ聽サルヘシ

第十四條 礦屬貨錢ノ事

石油輕荷竹煉化石黏灰黏土炭燂炭砂石鐵碎鐵塊石灰礦金鐵道諸材沙鉅屑海草石板建築用ノ粗石或ハ精石及草波等ノ如キ礦屬ハ百ニ付六錢二厘五毛貨錢ニテ定額四千四百八十斤ヨリ

減セサル高ヲ輕車ニテ運送シ損失トモ貨主ノ  
責任トス否ラサレハ百斤ニ付十二錢五厘ヲ取  
可シ

第十五條 貨物ノ遲滯賃ノ事

託者或ハ受託者ノ便利ニヨリ着後二十四時以  
上鐵道構内ニ滯ルトキハ其貨物損失トモ貨主  
ノ責任ニテ一日毎百斤ニ付三錢ノ遲滯賃ヲ出  
ス可シ

第十六條 貨車ノ遲滯賃ノ事

礦屬並長尺ノ木材類ヲ載セ着後二十四時ノ間

外務省

ニ受取荷卸セサル車ハ一日每一輛ニ付二圓ノ  
割ニテ遲滯賃ヲ取り又既ニ託シテ貨物ヲ載セ  
ザル車一輛ニ付一日毎ニ二圓ノ遲滯賃ヲ取ル  
可シ

第十七條 木材遲滯賃ノ事

尺量ヲ以運送スル木材ノ遲滯賃一尺立方角六  
切レ或ハ以下ニ付一日毎六錢二厘五毛ノ遲滯  
賃ヲ取ルベシ

第十八條 運送ノ貨物地名家號ヲ可記事

運送ノタメ受取ル貨物ハ都テ日本或ハ英國ノ

文字ニテ分明ニ讀ミ易ク届ク可キ處ノ地名家  
號ヲ記ス可シ若シ豫メ此等ノ文字ヲ記サ、ル  
時ハ鐵道掛ニテ之ヲ記シ筆記料ニ錢ヲ取リ送  
狀並鐵道ノ受取狀ニ之ヲ記載ス可シ

第十九條 工ヲ受サル木材賃錢ノ事

工ヲ受ケザル木材ハ一輛ノ重車載スル處ノ尺  
量壹尺立方角百二十切ヨリ減セズシテ一尺立  
方角四十切毎ニ七十五錢ノ割合ヲ以テ賃錢ヲ  
取ルヘシ若シ壹尺立方角百二十切ヨリ減スレ  
ハ一尺立方角四十切毎ニ一圓ノ割合ヲ以テ取  
ルヘシ

外務省

第二十條 工ヲ受タル木材板類賃錢ノ事

既ニ工ヲ受タル木材ハ鉋平或ハ鑿凹ノ板車輪  
ノ縁戸板家作用ノ板車板桶板ノ類ヲ係セテ共  
ニ壹尺立方角四十切毎ニ廿一圓ノ割合ニテ賃  
錢ヲ取ヘシ

第二十一條 桶箱ノ類運送ニ付差別アル

事

大體重量ノ貨物水溜大包ノ箱空桶ノ如キ車數  
ヲ用ユル品類ハ用ユル所ノ車一輛ニ付三圓五

十銭ノ割合ニテ賃銭ヲ取ル可シ尤右ノ桶箱ノ類ノ如キ内へ何ナリ凡滿テ候節ハ其内ニアル物品ト共ニ之ヲ量リ表ニ照シテ物品賃銭ノ割合ニテ總斤數ノ賃銭ヲ取ルヘシ而シテ一旦品物ヲ滿テ送りニ歸リ桶箱類ノ如キハ便利ヲ與フルタメ實有ノ斤量ヲ計リ百斤ニ付十八錢七厘五毛ノ割合ニテ賃銭ヲ取ル可シ一物ニテ六千七百二十斤以上ノ品ハ受取運送トモ一切致サ、ルナリ

第二十二條 小舟凡本舟類賃銭ノ事

外務省

一 輛ノ車ニ滿ルモノハ一圓五十錢ニ跨ニ跨ルモノハ三圓ノ賃銭ヲ取ル可シ

第二十三條 長キ木材其外長大ノ物品賃鐵ノ事 鐵罐機關帶木機呂帆檣木材類ノ運送ニ二車或

ハ二車以上ノ車數ヲ要スル者或ハ右ノ外一物ニテ二車或ハ二車以上ノ車數ニ跨ガルモノハ一車ニ付二圓五十錢ノ割合ニテ賃銭ヲ取ル可シ

第二十四條 飲料及ヒ油類ノ事

エールビール、ポルトル、スピリット、ワイン、ノ如

キ飲料及ヒ油類ハ損失トモ貨主ノ負担ニテ積卸シスヘシ

第二十五條 薪運送賃ノ事

薪ハワゴント稱スル車ニテ積ミ運送ス可シ一車ニ廿三圓五十錢ノ割合ニテ賃錢ヲ取ル可シ

第二十六條

馬車賃車ハ

一輛ニ廿三圓五十錢

第二十七條

人力車ハ

一輛ニ廿二圓五十錢

第二十八條

牛豚羊山<sup>ヤ</sup>羊<sup>キ</sup>馬ハ當今運送致サ、ル事

第二十九條

損シ易キ品類取扱ノ事

衝球臺打球臺寶粧ノ鳥獸

死タルマ、脱物ニ作りタル鳥獸

枝燭臺土器卵

鮮魚鮮菓家具日本漆器磨キ或ハ工ヲ受ケタル

大<sup>一</sup>理石鮮肉首飾類樂器火質ナキ油油紙蠟理學

機械馬具器具額縁新鮮ノ食料水銀彫像菜蔬衣

服或ハ其他ノ珍寶質脆キ物損シ易キ品類ヲ運

送スル時其品柄並價高等ヲ明白ニ記載スル

モノナク又ハ鐵道掛ノ荷物取扱主任ノ者安着請

合ノ増賃ヲ受取ル事ナケレハ政府ニ於テハ一

外務省



切損失ニ關係セサル事略則十三ヶ條ニ載スル  
カ如シ

但シ右品類ヲ外ノ包ミ箱等ニ詰合セアルモ  
ノモ右ニ同シキ事

第三十條 蠶卵紙運送ノ事

蠶卵紙ハ一斤ニ廿三錢ノ割合ニテ運送スヘシ  
然レ凡十斤以下ノ賃錢ニ下ルトキハ運送致サ  
ス尤モ損失ニ關係ナシ

第三十一條 客車ニテノ貨物運送ノ事

客車ニテ運送スルタメ受取ル所ノ貨物其規則

外務省

章程ニ隨テ運送シ旅客ノ取扱所ニテ辨理シ東

京新橋ヨリ横濱迄全路ハ三十斤或ハ已下ニ廿

二十五錢ノ割合ニテ賃錢ヲ取ルヘシ半途ノ

テーシヨシヨリ或ハ半途ステーシマテノ運

送ハ「ブリツキワシ」列車ノ未ニアリ車行ヲ緩急  
スル機關ヲ備タル車ヲ云

餘地ノ有無ニ依リ貨物ヲ受取三十斤或ハ以下

ニ廿十二錢五厘ノ割合ニテ賃錢ヲ取ル可シ

貨錢表

イ

色玻璃器

洋名  
エナメルドウエール

量目百斤ニ付但百六十回ニ斤

十八錢七厘五毛

糸

十二錢五厘

無花菓乾タル

十八錢七厘五毛

インデイヤルブル

十二錢五厘

全貨物

十八錢七厘五毛

硫黄

十二錢五厘

碓

全

衣服

十八錢七厘五毛

外務省

石灰

六錢二厘五毛

石

全

石

エヲ受ケタルモエヲ受ケサルモ建替用  
碑其他ノタメ切磨  
彫刻ニタルモノ

十八錢七厘五毛

鑄物類

條則ヲ見ヨ

十二錢五厘

口

鑪缸

十二錢五厘

銅緑

全

ハ

蜂蠟

十八錢七厘五毛

蜂蜜

全



魚膠	洋名 セラテイン	全
大蒜		十二錢五厘
膠		全
膠錫罐入り		全
鮮肉	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	十八錢七厘五毛
肉豆蔻		全
荷物	表中別ニ名ヲ擧グル	全
荷物	貨物ニテ名ヲ記サル	全
彫像	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	全
彫物		全
盆		全
ポルトル桶	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	十二錢五厘
全		十八錢七厘五毛
砲彈	入り	十二錢五厘
帽子類	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	十八錢七厘五毛
砲車		十二錢五厘
砲銃		全
鈕鈎		十八錢七厘五毛
ポッター		十二錢五厘

外務省

縮緬	燈臺	土器	時計	糖水	橙汁	亞鉛	亞鉛	玉蜀黍	鳥	磁石	帆布	神樂	木履	箒並毛掃	骨
	全	全	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ			黍ノ皮ヲ去リタルモノ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ関係ナキ						
子			十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	六錢二厘五毛	全	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	全	全	全
								外務省							

茶	茶包ノ箱	全	十二錢五厘
林檎酒	樽詰ノ 増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	十二錢五厘	
同	瓶詰ノ	十八錢七厘五毛	
理學ノ諸器	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	全	
又			
繡物		十八錢七厘五毛	
縫物機具		全	
漆物	日本製 増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	全	
外務省			
襪		十二錢五厘	
布屑		全	
樽	大體重量貨物ノ部ヲ見ヨ		
帶木	長キ木材ノ條則ヲ見ヨ		
ワ			
ワイン樽詰	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	十二錢五厘	
全	瓶詰ノ	十八錢七厘五毛	
綿屑		十二錢五厘	
綿織麻類織物ノ箱		十八錢七厘五毛	

3-2275

0392

賀蘭禾	金ノ器	鐘ノ地	鐘	柘草	瓦	皮類	皮	輕荷	輕石	寒天	甘草	標牌	鍛工ノ鞆	鍛治道具	海綿	海草	貝殻	カ	
洋名 エチニール	眞鍮ノ器 銅ノ器		各種	蕨アル貨車而已ニテ運送シ 一車ニ付但一車ニ滿サル奇合ノ貨鐵モ猶同シ	各種		カ ルボ ック ア スイ ツト 添 板 キ 用												
十八錢七厘五毛	全	全	全	全	全	全	全	六錢二厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	全	全	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	六錢二厘五毛	十二錢五厘		

空箱 大體重量貨物之部ヲ見ヨ

外務省

槎 糸 綿 絹	同	紙	首飾	瑪瑙	飾物	籃	白鳴鐘	罐板	樂器	額	家 具 當 用	芥子	空 載 ノ 物	傘	空 瓶	鑪	賀蘭 采 洋 名
ヨ	全國産	文房用 外國産	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ		條則ヲ見ヨ	全	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ		大体重量貨物ノ部ヲ見ヨ	外國産	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ		ユキニール
十八錢七厘五毛	十二錢五厘	全	全	全	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	三十錢一錢二厘五毛	全	全	十八錢七厘五毛	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	全	十八錢七厘五毛	

外務省



羊皮紙	全
大砲ノ彈丸	十二錢五厘
大理石	十八錢七厘五毛
大理石	六錢二厘五毛
烟草	十八錢七厘五毛
烟草	十二錢五厘
煖爐及鐵物	全
及物	十八錢七厘五毛
籐	十二錢五厘
彈丸	全
彈丸	全
撞球及打球臺	十八錢七厘五毛
卵	十二錢五厘
竹	六錢二厘五毛
全	十二錢五厘
薪	六錢二厘五毛
旅具	十八錢七厘五毛
夕ビオカ	十二錢五厘
足袋脚半ノ類	十八錢七厘五毛

外務省

蚕卵紙	條則ヲ見ヨ	
煉化石	常用	六錢二厘五毛
同	磨物用	十二錢五厘
同	防火ノ堅實	六錢二厘五毛
連枝燭臺	増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	十八錢七厘五毛
レモナード	瓶或ハサイフヲシテ全	全
蘇木		十二錢五厘
ソルフェートヲフアイロソル		全
外務省		
象牙		十八錢七厘五毛
ソーダ		十二錢五厘
ソーダ水	瓶或ハサイフヲシテ増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	十八錢七厘五毛
ソーダ水	空瓶	全
ソーダ水	空瓶	十二錢五厘
測量器具		十八錢七厘五毛
漆料		全
漆料	ノ木	十二錢五厘
漆	拔ノ水及ヒ粉	全
租紙並紙層		全
ツ		

滑皮	鮮新ノ食物全	鮮魚 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	鉛筆 <small>通帯黒鉛製</small>	同 <small>白鉛</small>	鉛 <small>塊板筒</small>	長香並香	繩	葱菜	煉玉玻璃 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	寢床	黏土	黏灰	杖	草皮	網	釣瓶	槌
十二錢五厘	十八錢七厘五毛	二十五錢	全	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	全	十八錢七厘五毛	全	全	六錢二厘五毛	十二錢五厘	六錢二厘五毛	全	全	十二錢五厘

外務省

臘干	ラ	十八錢七厘五毛
ラツクタイ及ヒセル		十二錢五厘
ラツクスティツク		十八錢七厘五毛
蠟燭脂油並蠟	全	
羅紗	全	
羅氈	全	
ム		
鞭		十八錢七厘五毛
馬香		十二錢五厘
外務省		
麥粉	全	
麥酒樽詰メ	全	
同瓶詰メ		十八錢七厘五毛
麥餅	全	
莞蓆類 通常		十二錢五厘
無名ノ包		十八錢七厘五毛
ウ		
漆		十二錢五厘
漆墨		十八錢七厘五毛
植物並苞木	全	

貨車	糕餅	菓子	火器	塊鏡	外科諸具	臥具	鋏	車輪	車軸	車輪	並車輪	鐵	箱	軍裝	行李	塞口	木	黒鉛	鋸屑	農具	漿	牛	飼	調	牛肉	豚肉	梅	詰	
條則ヲ見ヨ								工ヲ受タル 木材ノ條則ヲ見ヨ						彈藥 ヲ除ク									ノ						
	全	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	六錢二厘五毛	全	十八錢七厘五毛	全	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	全	全	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十二錢五厘	六錢二厘五毛	全	十二錢五厘	全	全	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	十二錢五厘	

外務省

3-2275

0399

菓物	乾キタルモノ 漬タルモノ	外國産	十八錢七厘五毛
同	同	國産	十二錢五厘
菓	鮮		十八錢七厘五毛
クレオリート	桶及ヒ箱詰		十二錢五厘
屑綿			全
鞋ノ包			全
鞍	馬車ノ装具		十八錢七厘五毛
草			十二錢五厘
鎖索			全
草木ノ筋			全
外務省			
釘	各種		全
櫛			十八錢七厘五毛
鯨骨			十二錢五厘
藥			十八錢七厘五毛
葛粉			十二錢五厘
ヤ			
藥材			十八錢七厘五毛
香料			全
蔬菜	増賃ヲ拂ハガレハ 損失ニ關係ナキ		十二錢五厘
椰子			全

椰子ノ殼	全
椰子ノ繩并糸	全
錘	全
丸木舟 條則ヲ見マ	マ
松脂 洋名ロースイン	十二錢五厘
滿 洋名スル	全
卷絮	十二錢五厘
卷烟草	十八錢七厘五毛
豆	十二錢五厘
外務省	
毛髮	十二錢五厘
毛皮	十八錢七厘五毛
毛製ノ物	全
フ	
フハウイナ	十二錢五厘
文具 各種	十八錢七厘五毛
古鍍鍍碎	六錢二厘五毛
焔炭	全
豚肉	十二錢五厘

3-2275

0401

豚油	全	
武器	十八錢七厘五毛	刀劍玉袋類
袋	十二錢五厘	
小絨	十八錢七厘五毛	
フエンドル	全	
粉	十二錢五厘	
琥珀	十八錢七厘五毛	
嬰兒ヲ載スル車	全	
金剛沙	十二錢五厘	
外務省		
氷	三十一錢二厘五毛	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ
黄羌末	十二錢五厘	
コーヒー	全	
ゴッタベルチヤ	全	
行李	十八錢七厘五毛	
鑛金	六錢二厘五毛	
鋼筆	十八錢七厘五毛	
礦水	全	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ
穀物	十二錢五厘	
肥ヤシ	六錢二厘五毛	人作調合ノ物



小舟	條則ヲ見ヨ	
電信器具	十二錢五厘	
轉車臺	全	
鐵製造シタル	全	
鐵匣	全	
鐵道ノ線釘枕	六錢二厘五毛	
鐵道諸材 <small>木ノ線床ヲ除ク</small>	全	
鐵帶車用	十二錢五厘	
鐵鎖	全	
外務省		
鐵器	全	
鐵ノ水溜 <small>大體重量貨物ノ部ヲ見ヨ</small>		
鐵ノ線枕 <small>鐵道用</small>	六錢二厘五毛	
手袋	十八錢七厘五毛	
手遊	全	
藍箱入り	十二錢五厘	
アンチモニー	十八錢七厘五毛	
銅製造シタル	十二錢五厘	
鍍銅	六錢二厘五毛	

酒	印花布	核	雜物ノ包	甘蔗其他藤藜竹類杖材	甘蔗	砂糖ノ塊	砂糖 桶袋入り	アスイツト薬用	麻屑	麻布	麻	油店ノ貯品	油糟	油紙	油布	油 火質ナキ	亞麻仁	扇
増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	織物ノ部ヲ見ヨ												増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ			
十二錢五厘		十二錢五厘	十八錢七厘五毛	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	十八錢七厘五毛	全	全	十二錢五厘	十八錢七厘五毛

外務省

サフラン	キ	十八錢七厘五毛
樹並苞木	全	十八錢七厘五毛
生糸繅糸繭	全	全
絹製造シタル	全	全
絹綿麻類織物ノ俵箱包等	全	全
金屬及鑄物 條則ヲ見ヨ	全	十二錢五厘
生綿	全	全
機械 條則ヲ見ヨ	全	全
羌黃	全	全
生蠟	全	全
樹皮	全	全
木材 條則ヲ見ヨ	全	全
木細工飾リ用	全	十八錢七厘五毛
牛油餅 洋名チール	全	全
煙管	全	十二錢五厘
工	全	全
油煙	全	十二錢五厘
鍍金ノ品物 増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	全	十八錢七厘五毛

外務省

明礬	味增	蜜柑	水銀	水澆	椎茸	真鍮並真鍮線	人力車	鹽	鹽肉及ヒ臘干	塩漬ケノ食物	雌黄	醬油	生姜	全漬ケタル	樟腦	硝石	錠
	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	藥物ヲ見ヨ	増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ	全			條則ヲ見ヨ					増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキヲ					
十二錢五厘	全		十八錢七厘五毛	全	十二錢五厘	全		十二錢五厘	十八錢七厘五毛	十二錢五厘	全	全	全	十八錢七厘五毛	全	十二錢五厘	全

外務省

松香 洋名ヒツチ	全	諸色	十八錢七厘五毛
書籍	全	實粧ノ鳥獸 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	全
支那蓆	全	支那陶器 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	全
精ケ大麥	全	砂穀米	十二錢五厘
寫真ノ諸器 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	全	砂磧	六錢二厘五毛
外務省			
敷物	全	樹膠 洋名ゴム	十八錢七厘五毛
紋織鐵	全	シユート	全
獸脂 洋名タルロ	全	獸脂 洋名グリース	全
工	全	豌豆	十二錢五厘
丹青家ノ諸具	全	畫圖 <small>増賃ヲ拂ハサレハ 損失ニ關係ナキ</small>	十八錢七厘五毛

繪圖地圖	全	
繪ノ具	十二錢五厘	
顔料	全	
エーレ 增賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ 増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	十八錢七厘五毛	
ビ		
玻璃板 増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	二十五錢	
玻璃鏡 同	三十一錢二厘五毛	
玻璃器 同	十八錢七厘五毛	
玻璃ノ薄板 同	全	
玻璃ノ屑	六錢二厘五毛	
外務省		
ビール桶詰 増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ	十二錢五厘	
ビール瓶詰	十八錢七厘五毛	
瓶 箱及ビ桶入り	全	
蹄及角	十二錢五厘	
平石	六錢二厘五毛	
鰐舌 各種	十八錢七厘五毛	
紐	全	
同	全	
紐平打 綿縮毛	十八錢七厘五毛	
ヒスキット	全	

毛 毡	十二銭五厘
毛 氈	十八銭七厘五毛
藥 牙及粉	十二銭五厘
玩 物	十八銭七厘五毛
木 綿製造	全
紐 並糸 童車	十二銭五厘
瀬 戸物 包	十八銭七厘五毛
銚	十二銭五厘
外務省	
線 床 十九條 廿條 見	
セル ラック	十二銭五厘
石 板 屋蓋用	六銭二厘五毛
同 學校用	十八銭七厘五毛
石 炭	六銭七厘五毛
石 鹼	十二銭五厘
石 腦油 洋名 ピラエメン	全
石 膏	十八銭七厘五毛
石 油 洋名 アスフハルト	六銭二厘五毛
ス	

醋<sup>ス</sup>

スイリケートオソダ

十二銭五厘

沙<sup>ス</sup>

ステイツクラック

六銭二厘五毛

炭<sup>ス</sup>

スヒリツト桶詰

増賃ヲ拂ハサレハ  
損失ニ関係ナキ

十二銭五厘

同 瓶詰メ

十八銭七厘五毛

錫<sup>ス</sup>鐵<sup>テ</sup>

全

錫<sup>ス</sup>器<sup>キ</sup>錫<sup>ス</sup>塊<sup>カ</sup>錫<sup>ス</sup>板<sup>イ</sup>

十二銭五厘

外務省



一 火災内變ヨリ起ル損失ニ關係ナキ事  
一 諸貨物ニ付政府ニテ損失ノ關係ハ送り届ク  
可キ地ニ貨物ノ着後二十四時ヲ過ル時ハ既  
ニ消工終ル事トシ其後ノ損失ハ貨主ノ責任  
タル可シ且政府ニテ貨物ヲ倉庫ニ入ル、  
アル時モ損失都テ貨主ノ責任タルベシ政府  
代吏ノ受取印書ナキ貨物ハ何品ヲ論セス政  
府ニテ一切損失ニ關係ナキ

外務省

校濟

鐵道貨物運送補則條中改正並追加

外務省

張

3-2275

0412

鐵道貨物運送補則條中改正並追加

改正

第十四條中定額四千四百八十斤ヲ改正シテ更ニ五千四十斤ト爲ス

第三十條釐卯紙ハ十斤ニ廿五錢ノ割合ヲ以テ損失トモ貨主ノ負担ニテ運送スヘシ但端斤ハ都テ十斤ノ貨錢ヲ受取ルヘシ

追加

第十八條中筆記料ニ錢ヲ取ル上ニ「一箱毎ニ」四字ヲ加フ

外務省

第三十二條

荷物ノ造リ方及ヒ記号宛名等不適當ニシテ之カ爲メ損失ニ陥リ或ハ荷物ノ内ニテ種々ノ物品互ニ動搖衝摩シ又ハ他物ト衝突シテ之カ爲メ損害ニ歸シ或ハ樽類ノ輪締リ悪ク又ハ体質悪クシテ其漏洩ヨリ起ル損失或ハ蒸沸ヨリ起ル損失等ハ政府ニ於テ一切關係セサルヘシ

第三十三條

工ヲ受タル金銀或ハ工ヲ受サル金銀寶石珠玉玩物類爲替切手約定證書爲替會社通用券金札

金銀請取拂證書郵便切手繪圖書附類及婦人ノ  
 飾衣等八十斤ニ付五錢ノ割合ニテ運送スヘシ尤  
 モ増賃錢ヲ拂フニ非サレハ政府ニ於テ一切損  
 失ニ關係セサルヲ略則第十三條ニ載ルカ如シ  
 但端斤ハ都テ十斤ノ賃錢ヲ受取ルヘシ

一 補藥 瓶詰 追加増賃ヲ拂ハサレハ損失ニ關係ナキ 同

一 ワイ酒ノ類 瓶詰 同

一 測量器械 同

一 外科諸具 同

一 スピリット酒ノ類 瓶詰 同

外務省

金銀其他高價ノ物品ニ付テノ増賃ハ當分  
 ノ内左ノ割合ヲ取ル可シ

一 荷主申立ノ價位貳百圓以下ノ荷物ハ貳拾錢  
 ヲ取ル可シ

一 全千圓以下ハ百圓コトニ拾錢ヲ取り千圓以  
 上ハ百圓コトニ五錢ヲ取ル可シ

一 貳拾錢以下ニ下ル増賃ハ受取ラサル事

五百五十一番

輔卿

輔卿

有司

有司

有司

依卿

録旨官物運送補別領簿表系追加  
明治九年九月。外務省副官高村俊  
外務省副官高村俊

明治九年九月。外務省副官高村俊

美澳米市併移

蘭西魯下伊

各公使閣下

あ日文

外務省

外務省副官高村俊

秘書 陽立 菊白

各領事 支下

別冊綴文、和文書格係格文、横文也  
綴ノ綴リ

寫濟

寫濟









Tokyo-hama 6 Octobre 1873

Excellence

J'ai l'honneur de vous accuser la réception  
de votre dépêche du 5 du 10<sup>m</sup> mois en  
me remettant les tarifs du transport des  
marchandises sur les chemins de fer Impé-  
riaux

Je saisis cette occasion pour réitérer  
à V. E. l'assurance de ma plus haute con-  
sideration

Emilio de Ojeda

Son Excellence

Soyeshima Ganneoni

Ministre des Affaires Étrangères de S. M. l'Empereur  
du Japon.

加

校子安少丞  
得去義成徳

本月五日附去朝并其国鉄道運送  
荷物祝則未送此下  
田若如新由之ノ教白

千八百二十三年六月六日

松原三郎

工三ノヲヲ人カ

外務卿 副島 種彦 閣下

外務省

3-2275

0420



千八百七十三年十月七日  
自伊代理公使 至副島卿  
大 鐵道規則送達之返翰  
意 別紙

伊代  
公使

Tokio 7 octobre 1873

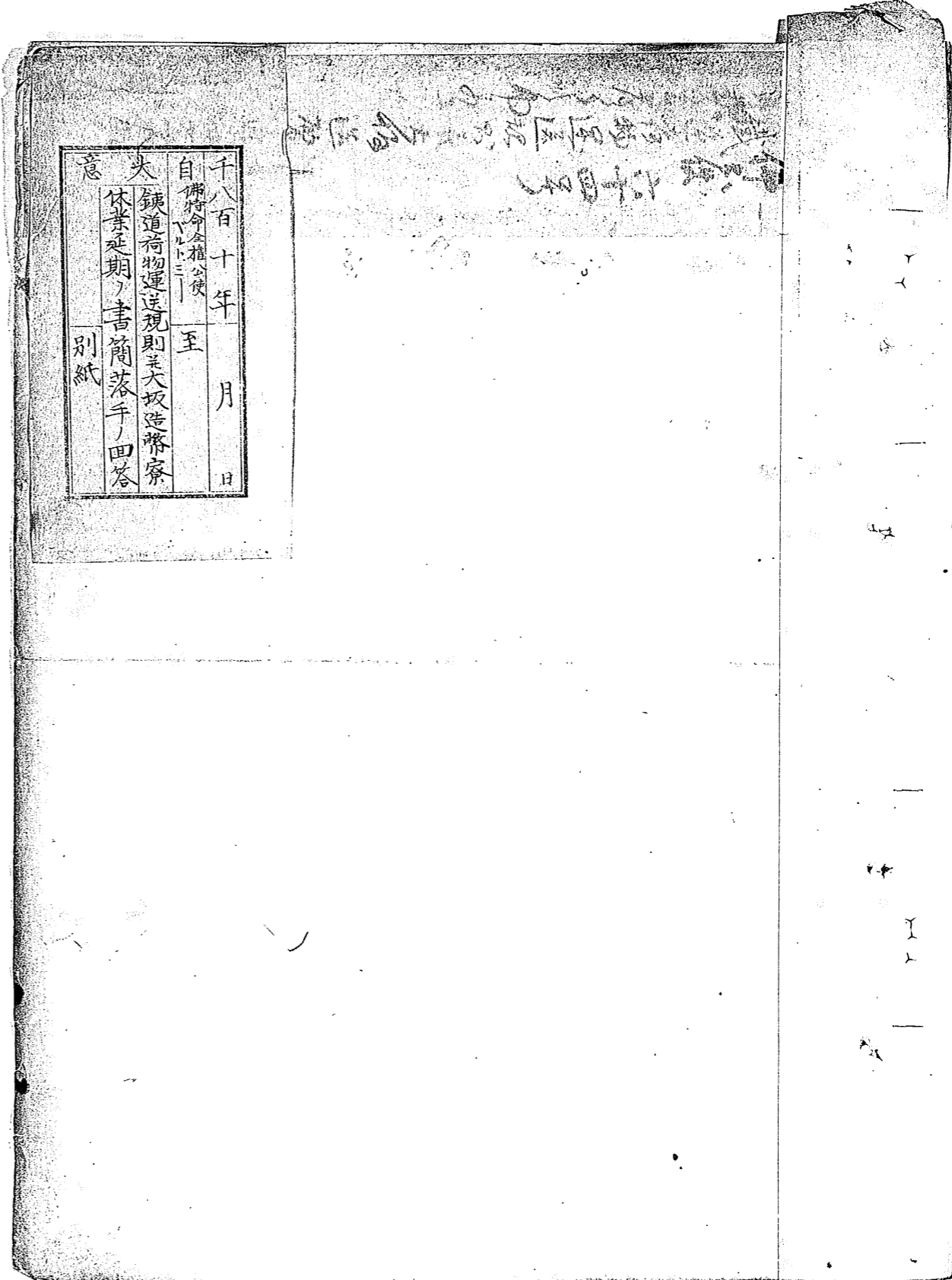
Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur d'avoir  
reçu à votre Excellence et de  
la remercier de la note en date  
du 5 courant N. 53, par laquelle  
elle a bien voulu me transmettre  
les lois et les règlements relatifs  
au trafic sur les chemins de  
fer japonais, et je sais avec  
volontiers cette occasion pour  
vous offrir, Monsieur le Ministre,  
l'assurance de ma plus haute  
considération.

W. Pitt

à l'Excellence  
Monsieur Sogedime Tanomii  
Ministre des Affaires Étrangères





意	大	鎮道荷物運送規則並大坂造幣寮 休業延期ノ書簡落手ノ回答	自	千八百十年	至	月	日
			佛	命			

3-2275

0425

termes de laquelle la suspension des  
travaux de la Monnaie d'Osaka est  
prolongée jusqu'au 30 novembre prochain  
m'est également parvenue.

Veuillez agréer, Monsieur le  
Ministre, les assurances de ma haute  
considération.

Balthazar



Légation de France  
au  
Japon

Yokohama, le 20 octobre 1873.

Monsieur le Ministre,

J'ai reçu la lettre que vous  
m'avez fait l'honneur de m'écrire le  
2 de ce mois pour porter à ma connaissance  
les règlements et tarifs concernant le  
transport des marchandises par voie  
fermée.

La communication que Votre Excellence  
m'a adressée à la date du 18 et aux

Son Excellence

Monsieur le Ministre des affaires étrangères  
Yedo.

うす

以手紙 啓上仕候儀

者 今月二日附之鐵

道 尚物運賃規則

書 添之由簡ト且第

七拾ニ号) 附之 大坂造

幣 察休業延期

之 号簡ト兩通 舊子

仕候 敬具

佛國全權公使

十月廿日

ベルトニ

外務總裁

者今月二日附之鐵

道尚物運賃規則

書添之貴簡ト且第

七拾二号附之大坂造

幣一察休業延期

之貴簡ト兩通告手

付候敬具

佛國全權公使

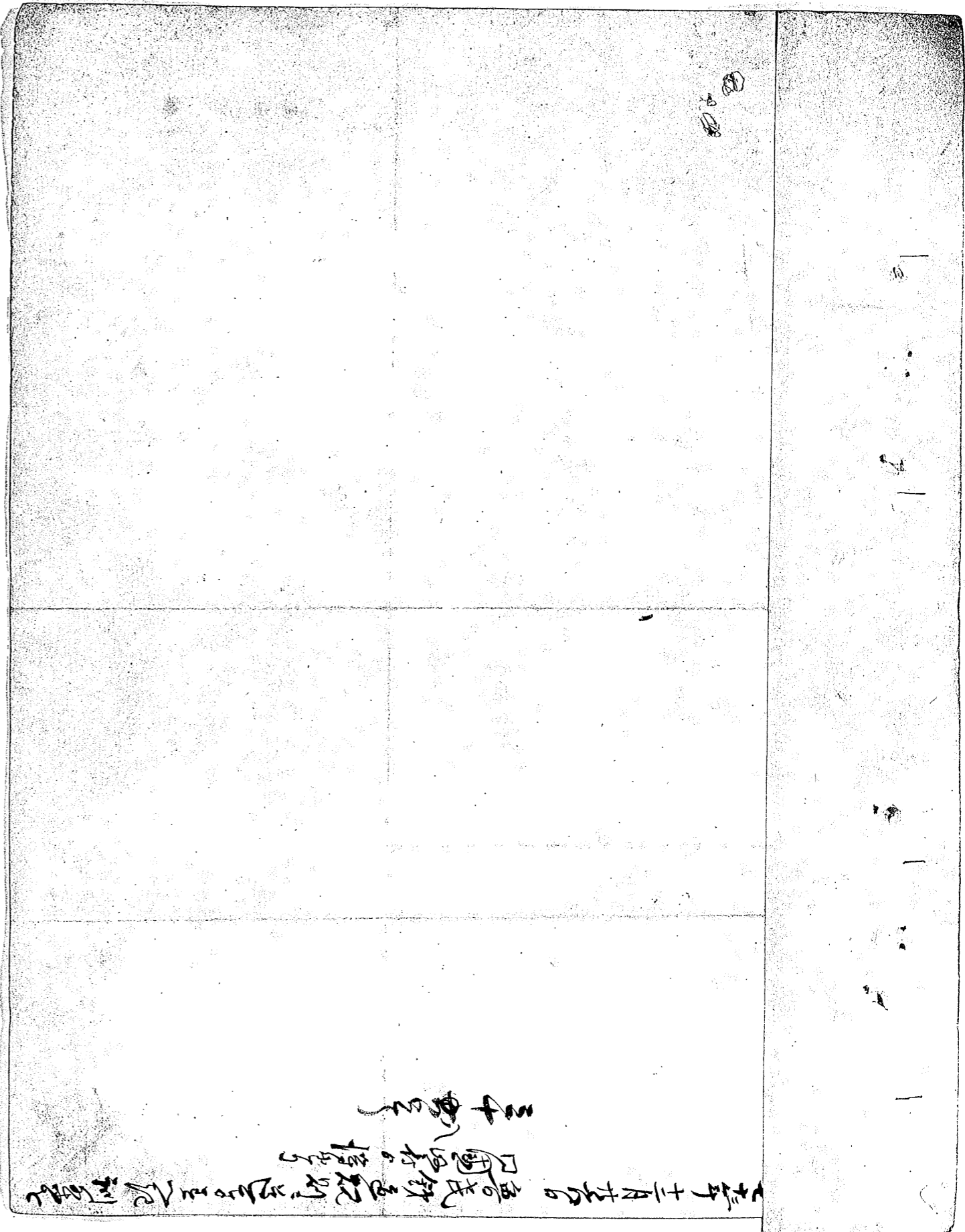
十月廿日

ベルトニ

外務總裁

副寫種臣

閣下



3-2275

0430

Министерству Трудов

Учтиво имея в виду до сведения Ваше  
ко Преображенскому Высочайшему  
Указу, предписавшему всеобщее  
Введение в употребление  
Вашего Правительства, обязательности  
для всех русских подданных  
предметов Имени.

Считаю также важным уведомить  
Ваше, что в отношении  
непосредственно дано  
Комитету в Имени  
с целью исполнения  
предметов казенности.

С уважением  
Ваше  
Султанов

А. Д. Султанов

И. Д. Копылов  
Теперь же в Комитете

Его Превос.

7-й Министр

Министерства, пер. пер. пер.

古書部 諸國通義譯

第三十八号

日本国内ニ住居スル魯西亜人民一般ノ為ニ貴國政  
府ヨリ法布告有リ其鉄道規則ヲ遵奉ナサシムル  
ノ許ヲ我カ國帝ヨリ得タル故ニ之ノ閣下ニ法報知  
申ス

右我國帝ヨリノ趣ニ連ニ總テ日本国内ニ住居スル  
我國領事申ヘキ可心得者ニ達スル限攝ス閣下  
ニ法報知ス

外務省

ケ子ラウ、コレニ代理

千八百九十三年三月十一日

ア、エ、オラローフスキ

外務卿青島常則

閣下

三ノ月廿五日

外事左局

左局

左局

左局

卿

輔

以手紙致啓上候然ハ我

皇帝陛下ノ勅慮ニ依テ貴政府ニテ御定置候處

3-2275

0433

七百四十四番

以手紙致啓上候然ハ我  
皇帝陛下ノ叡慮ニ依テ貴政府ニ  
テ御定置候處ノ錢道規則ニ貴國  
申在留スル我國人民ヲ從シムル為メ其  
規則ヲ承伏イタスニ儀本國ヨリ命書落  
掌イタシ候間貴國ニ於テ我國領事官  
等ハ右規則ヲ取行ヒイタスニキ様不取敢  
致報知可申候敬具

魯國代理ト使勤方

明治六年十一月廿六日

ララロウスキイ

外務卿寺島宗則

閣下



第拾三號

校了

第拾四號

明治六年第百三十六號ヲ以テ公布相成候鐵道貨物運送補則並追加及ヒ壬申九月相達候鐵道列車賃金表共別紙ノ通改正ノ上來ル六月十五日ヨリ施行候條此旨布達候事

明治七年五月二十八日 工部卿伊藤博文

外務省

校了

附屬

鐵道貨物運送補則

第一條 狭道貨物運送ノ事

日本政府ハ左ノ表ニ載スル規則ニ随ヒ定款ノ賃  
錢ヲ取リ東京ノ新橋及横濱ノ狭道「ステーション」  
ノ間ニ貨物ヲ運送スルノ支度悉ヘリ政府ノ貸錢  
ハ更ニ便宜トスルノ議アル時ハ時々政府ノ改革  
ニ随フヘキ事

第二條 表ニ舉サル貨物賃錢ノ事

賃錢表中別ニ其名ヲ舉サル貨物ハ百分ニ付十二

外務省

分ノ賃錢ヲ取ルベシ

第三條 託送貨物ノ事

託送ノ貨物ハ狭道掛リニ渡ス時送ル處ノ貨物品  
名ヲ標記シおス託送ノ人一名或ハ連名又ハ其代  
人ニテ手記シタル送り状ヲ添エヘシ

第四條 品名不標記貨物ノ事

託送ノ人ニテ其品名ヲ標記セサル貨物ハ百分ニ  
付十二分ヲ取ルヘシ

第五條 奇零貨物ノ事

何程少ナキ奇零貨物モ貨車ニテ運送スルニ於テ

ハ於テ百斤ノ貨物ヲ取ルヘシ

第六條 百斤以上ノ奇零斤數ノ事

貨車ニテ運送スル託送貨物百斤以上ノ奇零斤數  
モ若ク五斤ノ例ニ倣ヒ都テ其奇零ヲ百斤トシテ  
其貨物ヲ取ル可シ

第七條 運送制限アル事

貨物運送ノ貨物ハ貨物ヲ車ニ載セステレヨシ  
ヨリスステレヨシマテ運送レテ之ヲ車ヨリ卸ス  
迄ノ貨物ニレテ貨物ヲ他存ヨリスステレヨシマ  
テ運ヒ又之ヲステレヨシヨリ他所ニ送ルノ後

外務省

總ヲ篇メサルナリ

第八條 貨物前渡ノ事

鉄道ニテ貨物運送貨物ハ都テ其發送ノステレ  
ヨシハ貨物ヲ渡ス時ハ前渡ニスヘシ

第九條 諸合ヲセサル事

政府ニ於テ荷物ヲ開封ナク車送スルヲ務合ス  
又何レノステレヨシニテモ荷物開封ノ時刻ヲ  
限ルヲ務合ス

第十條 鉄道ノ諸合状ノ事

貨物ヲ渡ス事兼テ發送ノステレヨシニ於テ與

フル所ノ請取状ヲ貨物請取人ニ與ヘ置之ト引換ニ貨物ヲ請取ルヘキ事

第十一條 償還證書ノ事

鉄道ノ積取状紛失スル時ハ政府若海陸ノ賠償證書ヲ出サシム

第十二條 貨物取扱所ノ事

貨物取扱所ハ東京ノ新橋並横浜「ステーション」ニ於テ貨物受付ノタメ毎日午前八時ヨリ午後六時マテ開ク可シ其余ノ時間ハ決シテ貨物ノ受付ヲ為サス

外務省

第十三條 遺失並毀損物ノ事

何品ヲ論マス送貨ノ遺失或ハ毀損ニ付政府ニ對シテノ苦情ハ當テ送ル所ノ「ステーション」ニ着後二十四時ノ間ヲ限り其貨物ヲ受取ル時ニ訃フヘシ否ノ時間ヲ過レハ訃フルモ之ヲ聴サルヘシ

第十四條 礦屬貨錢ノ事

石、竹、煉化石、黏灰、黏土、炭、燐炭、砂石、鑛碎、鑛塊、石灰、鑛金、鑛道諸材、沙、鉅屑、海藻、石板、建築用ノ粗石或ハ精石及草皮等ノ如キ礦屬ハ百斤ニ付四錢ノ貨錢ニテ定額五千、四十斤ヨリ減セサル高ヲ輕車ニテ運

送シ損失トモ貨主ノ責任トス否ラサレハ百斤ニ付六銭ヲ取ル可シ

第十五條 貨物ノ遅滞賃ノ事

託者或ハ受託者ノ便利ニヨリ着後二十四時以上鉄道構内ニ滞ルトキハ其貨物損失トモ貨主ノ責任ニテ一日毎ニ百斤ニ付三銭ノ遅滞賃ヲ出ス可シ

第十六條 貨車ノ遅滞賃ノ事

礦属並長尺ノ木材類ヲ載セ着後二十四時ノ間ニ受取荷卸セサル車ハ一日毎ニ一輛ニ付二円ノ割

外務省

ニテ遅滞賃ヲ取リ又既ニ託シテ貨物ヲ載セサル車一輛ニ付一日毎ニ二円ノ遅滞賃ヲ取ル可シ

第十七條 木材遅滞賃ノ事

尺量ヲ以テ運送スル木材ノ遅滞賃一尺立方角六切レ或ハ以下ニ付一日毎ニ五銭ノ遅滞賃ヲ取ル可シ

第十八條 運送ノ貨物地名家跡ヲ可記ノ事

運送ノタメ受取ル貨物ハ都テ日本或ハ英國ノ文字ニテ分明ニ記シ易ク届ク可キ處ノ地名家跡ヲ記ス可シ若シ豫メ何等ノ文字ヲ記サ、ル時ハ後

送状並送道ノ受取状ニ之ヲ記載ス可シ

第十九條 エヲ受ケタル木材賃料ノ率

エヲ受ケタル木材ハ一輛ノ重車ニ載スル處ノ尺  
量モ尺立方角百二十切ヨリ減セシテ一尺立方  
角四十切毎ニ七十五錢ノ割合ヲ以テ賃料ヲ取ル  
ハレ若シモ尺立方角百二十切ヨリ減スレハ一尺  
立方角四十切毎ニ五圓ノ割合ヲ以テ取ルハレ

第二十條 エヲ受ケタル木材板類賃料ノ率

既ニエヲ受ケタル木材ハ鉋平或ハ鑿凹ノ板車輪  
ノ縁戸板、家作用ノ板、車板、桶板ノ類ヲ係セテ共ニ  
一尺立方角四十切毎ニ付五圓ノ割合ニテ賃料ヲ  
取ルハレ

外務省

第二十一條 桶箱ノ類運送ニ付差別アル事

大體重量ノ貨物、水桶、水溜、大包ノ箱、空桶ノ如キ車  
殼ヲ用フル品類ハ用フル所ノ車一輛ニ付三四五  
十錢ノ割合ニテ賃料ヲ取ル可シ一物ニテ六千七  
百二十斤以上ノ品ハ受取運送トモ一切取サハル  
ナリ

第二十二條 小舟丸木舟類賃料ノ率

改正

八年六月

第一輛ノ車ニ滿ルモノハ一月五十銖ニ輛ニ跨ルモ ノハ三月ノ賃銖ヲ取ル可シ	第二十三條 長キ木材其外長大ノ物品賃銖ノ事 鉄罐機関帶木機呂帆樞木材類ノ運送ニ二車或ハ 二車以上ノ車數ヲ要スル者或ハ右ノ外一物ニテ 二車或ハ二車以上ノ車數ニ跨カル者ハ一車ニ付 二月五十銖ノ割合ニテ賃銖ヲ取ル可シ一物ニテ 量目六千七百二十斤以上ノ物ヲ積取可カラス	第二十四條 飲料及ヒ油類ノ事 エール、ビール、ポルトル、スピリット、ワイン、ノ如キ 飲料及ヒ油類ハ換貨主ノ責任ニテ積ミ卸シ スヘシ	第二十五條 薪運送賃ノ事 薪ハ「ワゴン」ト稱スル車ニテ積ミ運送ス可シ一車 ニ付三月五十銖ノ割合ニテ賃銖ヲ取ル可シ	第二十六條 馬車賃車ハ 一輛ニ付 三月五十銖	第二十七條 人力車ハ 全 五十銖	第二十八條
--	---	--	--	------------------------------	------------------------	-------

外務省

牛、豚、羊、山羊、馬ハ當今運送致サ、ル事

第二十九條 蚕卵紙運送ノ事

蚕卵紙ハ十斤ニ付五鈔ノ割合ヲ以テ損失トモ貸主ノ責任ニテ運送ス可シ但端斤ハ都テ十斤ノ賃鈔ヲ受石ルハレ若シ十斤以下ノ賃鈔ニ下ル片ハ之ヲ運送スヘカラス

第三十條 換シ易キ品類取扱ノ事

衛球臺、布球臺、寔粧ノ鳥獸死タルマ、玩物ニ作りタル鳥獸、枝燭臺、土器、卵、鮮菜、家具、日本漆器、磨キ或ハ工ヲ受ケタル大理石、鮮肉、鮮魚、樂器、火燧

外務省

ナキ油、油紙、蠟、理学器械、寫真器、吳服、縁、新鮮ノ食料、水銀、彫像、菜蔬、衣服或ハ其他ノ珍寶、寶物、損シ易キ品類ヲ運送スル時其品柄並價高等ヲ明白ニ記載スル丁モナク又ハ狭道掛ノ荷物取扱主任ノ者安着請合ノ増賃ヲ受取ル丁ナケレハ政府ニ於テハ一切損失ニ関係セサル事畧則第三十三條ニ載スルカ如シ

但シ右品類ヲ外ノ包ニ箱等ニ詰合セアルモノモ右ニ同シキ事

第三十一條



荷物ノ送り方及ヒ記障炎名等不適當ニシテ之カ  
 者ニ換失ニ陥リ或ハ荷物ノ内ニテ種々ノ物品互  
 ニ動搖衝摩シ又ハ他物ト衝突シテ之カ多ク損害  
 ニ帰シ或ハ損類ノ輪締リ悪ク又ハ体質悪クシテ  
 其漏洩ヨリ起ル損失或ハ蒸沸ヨリ起ル損失等ハ  
 政府ニ於テ一切関係セサルヘシ

第三十二條

工ヲ受タル金銀或ハ工ヲ受サル金銀、寶石、珠玉、硯  
 物類、多替切手、約定證書、多智會社通用券、金札、金銀  
 請取掛證書、郵便切手、繪巻、書附類及婦人ノ飾衣等

外務省

ハ十斤ニ付五鎊ノ割合ニテ運送スヘシ或モ増賃  
 船ヲ掛フニ非サレハ政府ニ於テ一切損失ニ關係  
 セサルト男別第十三條ニ載ルカ如シ  
 但端斤ハ都テ十斤ノ貨船ヲ受取ルヘシ

追加 客車ニテ貨物運送ノ事

客車ニテ運送スルタメ受取處ノ貨物其規則章程  
 ニ隨テ運送シ旅客ノ取扱西ニテ管理シ東京新橋  
 ヨリ横浜迄全線ハ三十斤或ハ已下ニ付二十五鎊  
 ノ割合ニテ貨船ヲ取ルヘシ半運ノ「ステーション」  
 ヨリ或ハ半運「ステーション」迄ノ運送ハ「ブリッキ

ワシ(列車ノ未ニアリ車行ヲ緩急スル機関ヲ備タル車ヲ云)ノ餘地ノ有否ニ依リ貨物ヲ受取三十斤或以下ニ付十二銖五匁ノ割合ニテ貨銖ヲ取ル可シ

金銀其他高價ノ物品ニ付テノ増價ハ当分ノ因左ノ割合ヲ取ル可シ

一 荷主申立ノ價位二百円以下ノ荷物ハ二十銖ヲ取ル可シ

一 全千円以下ハ百円コトニ十銖ヲ取リ千円以上ハ百円コトニ五銖ヲ取ル可シ

外務省

一 二十銖以下ニ下ル増價ハ受取ラサル事

一 火災内憂ヨリ起ル損失ニ関係ナキ事

一 諸貨物ニ付政府ニテ損失ノ関係ハ送り届ク可

キ地ニ貨物ノ着後二十四時ヲ過ル時ハ既ニ消

工終ル事トシ其後ノ損失ハ貨主ノ責任タル可

シ且政府ニテ貨物ヲ倉庫ニ入ル、下アル時モ

損失ハ都テ貨主ノ責任タルハレ政府ノ代吏ノ

受取印書ナキ貨物ハ何品ヲ論カス政府ニテ一

切損失ニ関係ナキ事

凡テ貨鈔ヲ五級ニ区分シ一級ヲ加フル毎ニ量目  
 百斤ニ付ニ鈔ヲ増加ス乃チ第一級ニ属スル品ハ  
 百斤ニ付四鈔第一級ハ六鈔第二級ハ八鈔第三級ノ如  
 シ而シテ別ニ級外貨金ヲ設ケ若級中ニ準ル處ノ  
 品名悉ク其首字ニ從ヒ（いろは）等ノ号ヲ設ケ以テ  
 之ヲ區別シ觀者ノ便ニ備フ

貨金表ハ畧ス

外務省

某二百十番  
外務省

輔卿

右局

局

局

局

并原不乃心列車賃金表共改正を奉りて在  
別紙報告文並、賃賦表一併を添付し  
為以向方乃心御返り候具

明治二十二年三月三日

英佛米蘭瑞瑞 檜白丁澳伊

西魯 各名使姓名 閣下

外務省

前日又

瑞西 瑞西 瑞西

瑞西 瑞西 瑞西

冬 冬 冬

寫物

第百五十二号

校了

第廿八号

本年五月中第十四号ヲ以テ布達及ヒ候新橋横濱  
間鐵道列車賃金表中旅客手廻荷物輸送之件相廢  
シ更ニ別紙之通規則相設ケ来ル十二月一日ヨリ  
輸送致候條此旨布達候事

明治七年十一月十七日

工部卿伊藤博文

外務省

3-2275

0447

校了

附屬

小荷物運送規則

- 一 旅客列車ニテ新橋横濱ノ間各「ステーション」へ小荷物左ノ割合ニテ運送スヘシ
  - 一 通常ノ小荷物目方五斤迄ノ端斤ハ貨金五銖其以上ハ端斤毎ニ銖五増加スヘシ
  - 一 紙漕器造リ花帽子輕キ家具及寒天ノ如キ換レ易キ且嵩高ノ品物ハ目方壹斤迄貨金拾五銖壹斤以上ハ壹斤毎ニ三銖ヲ増加スヘシ
  - 一 猫豚子及其他ノ小獣並ニ籠入或ハ縛リタル食料ノ生鶏其外ノ鳥獸ハ皆掛ニテ通常ノ小荷物貨金ノ壹倍ニテ運送スヘシ則目方五斤迄ハ金拾銖ヲ取立以上壹斤毎ニ金拾銖ヲ増加スヘシ
- 但犬ハ此外タルヘシ
- 一 死タル食料ノ鶏其他鳥獸ノ類ハ通常ノ小荷物同様ノ貨金ニテ運送スヘシ
  - 一 屍體運送ハ大人ハ金五円ノ貨金ヲ取立小兒ハ右ノ半貨タルヘシ
  - 一 小荷物目方六拾斤以上又ハブリツキワシ車戸口ヨリ入レ難キ大キサノ品物ハ運送セサルヘシ

外務省

一 小荷物ハ何品タリモ送り先キ「ステーション」並ニ  
諸人ノ名前ヲ記シ置クヘシ

一 小荷物ハ換失スルトモ荷主ノ持テテ只「ステーション」ヨリ「ステーション」迄ノ間ヲ送送スヘシ

古ノ貨金ハ素ヨリ持込配達ノ費ヲ省メス

一 小荷物「取取」人ハ其送り先キ「ステーション」へ荷物  
到着後廿四時ノ内ニ必ス取取ルヘシ自他有期限  
ヲ超ユルニ於テハ廿四時以後一日ニ付取送金ノ  
預リ賃ヲ取立ヘシ

一 前條ノ貨金並手續等ハ各「ステーション」共同一タ

外務省

ルヘシ

明治七年十一月

3-2275

0449

明治九年三月廿四日  
自伊藤工部卿  
至寺島卿

來翰ノ別紙

自	至	月	日
大	神戶鐵道棧橋保全規則		
意			

別紙

3-2275

0450



at once.

XIV.

The captain or other officer in charge of every vessel using or lying at the Rail: way Pier or Beroy is expected to comply with all the foregoing Rules & Regulations. He will be handed a receipt to sign for the copy of same given him, acknowledging his willingness to comply with the conditions stated.

I have received & duly read a copy of Rules and Regulations, dated ~~August 1875~~, respecting the Kobe Rail: way Pier, and I hereby undertake to comply with those Rules &c.

Date -----

Signature -----

Above is the form of receipt.

X.

Gumpowder, Nitro-glycerine, Petroleum, Acids, or other dangerous or explosive material, will not be allowed to be landed on the Railway premises (unless under special permission.) In case of any vessel having such material on board notice must be given of the same before proceeding to the Pier or Buoy.

XI.

No ashes, ballast whether stone or mud, or refuse matter of any kind is to be thrown or dropped overboard or landed at the Railway premises. Ballast bays, to be used with due care, will be provided for such vessels as may be obliged to take in ballast at the Pier or moorings.

XII.

Vessels discharging at the Pier shall find their own Gear. (The use of the Pier cranes can be obtained by special arrangement.) And all goods will be at the Ship's risk and expense, until clear of ship's slings and tackles.

XIII.

The captain or other officer in charge of every vessel using or lying at the Railway pier or Buoy is expected to observe all the regulations and rules of the custom house, and in case of non observance the right of using the pier shall be withdrawn.

Reference to the matters concerning the custom house

Buoys, Dalphin piles, &c. and should any vessel from peculiarity of size or build require additional facilities for making fast, they will be provided as necessary by the Railway Authorities on such requirement being brought to their notice]

V.

Every working day shall commence at Sunrise and terminate at Sunset, Sundays Holiday and inclement weather excepted. Night work will be permitted by the custom house authorities only in exceptional cases.

VI.

The gates will be closed each night at 10 P.M. after which hour no person will be allowed to enter or leave the premises.

VII.

No pitch, tar, &c. shall on any account be boiled, nor any fire lighted either on the Pier or on the Railway premises.

VIII.

No brawling or rioting will be allowed.

IX.

In case of any offence being committed or injury done by coolies or others in the employ of the Railway Department, representation of the case is immediately to be made, but it is strictly prohibited to strike any coolie or other person offending.

Rules and Regulations  
having reference to all vessels coming  
alongside the Kobe Railway Iron Pier.

August 1875.

I.

Before making any vessel fast to  
the Railway Buoy and alongside the  
pier, due notice must have been given to, and  
sanction in writing obtained from the Com-  
missioner in charge at Kobe Station or the  
Agent S. C. Railways (as the case may be), by  
the Captain or other officer in charge.

II.

Any vessel lying at the Buoy shall,  
within four hours (weather permitting), leave  
the same on notice to that effect being given  
to the officer in charge.

III.

Vessels lying alongside the Pier shall,  
with all possible despatch, when so required,  
haul off to one or other of the Buoys and not  
again return to the Pier until permission  
has been given.

IV.

No chain rope or other fastening of any  
kind, shall under any circumstances be  
attached or made fast to any part of the  
Pier itself.

[Note. Ample security is afforded by